

目指すべき将来

将来にわたって「活力ある地域社会」の実現

人口減少を和らげる

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

◆ 結婚、妊娠、子供・子育てに温かい社会の実現に向かっていていると考える人の割合、50%

魅力を育み、ひとが集う

○ 地方に住みたい希望の実現

地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内経済循環を実現する

人口減少に適応した地域をつくる

「東京圏への一極集中」の是正

◆ 地方・東京圏の転出入均衡

基本目標

主な施策の方向性

横断的な目標

1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

○ 地域の特性に応じた、生産性が高く、稼ぐ地域の実現

◆ 地方における若者を含めた就業者増加数 100万人（2019年～2024年）

○ 地域資源・産業を活かした地域の競争力強化
○ 専門人材の確保・育成

○ 安心して働ける環境の実現

◆ 若い世代（15～34歳）の正規雇用労働者等の割合 全ての世代と同水準を維持

○ 働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保

2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

○ 地方への移住・定着の推進

◆ UIJターンによる起業・就業者数、6万人（2019年～2024年）等

○ 地方移住の推進
○ 若者の修学・就業による地方への定着の推進

○ 地方とのつながりの構築

◆ 「関係人口」の創出・拡大に取り組む地方公共団体の数 1,000団体

○ 関係人口の創出・拡大
○ 地方への資金の流れの創出・拡大

3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

○ 結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

◆ 第1子出産前後の女性継続就業率、70%（2025年）等

○ 結婚・出産・子育ての支援
○ 仕事と子育ての両立

○ 地域の実情に応じた取組の推進

4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

○ 活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保

◆ 市町村域内人口に対して、居住誘導区域内の人口の占める割合が増加している市町村数、評価対象都市の2/3

○ 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実
○ 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成

○ 安心して暮らすことができるまちづくり

多様な人材の活躍を推進する
○ 誰もが活躍する地域社会の推進
○ 多様なひとびとの活躍による地方創生の推進

◆ 地域再生法等に基づき指定されている NPO法人等の数、150団体
◆ 女性の就業率、82% 等

新しい時代の流れを力にする
○ 地域における Society 5.0 の推進
◆ 未来技術を活用し地域課題を解決・改善した地方公共団体の数及びその課題解決・改善事例数、600団体・600件
○ 地方創生 SDGs の実現などの持続可能なまちづくり
◆ SDGs の達成に向けた取組を行っている都道府県及び市区町村の割合、60%

◆: KPIの項目、目標値及び目標年度（目標年度の記載のない項目の目標年度は2024年度）

＜地域創生の課題＞

【人口面の課題】

婚姻数・出生数の減少

- ・出生数は、H28から減少幅が拡大
- ・50歳時未婚率の上昇、20～30歳代の女性人口の減少が主要要因

若者・女性の転出超過の拡大

- ・20歳代の前半の転出者数はH26年からの4年間で1.5倍
- ・県内大学生の県内就職率は3割弱で推移

【戦略面での課題】

地域毎に異なる課題の顕在化

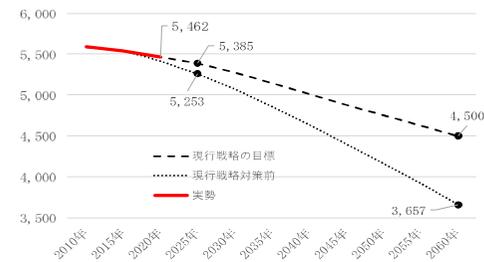
- ・県内でも都市圏と多自然地域で人口偏在が顕在化
- ・合併市町では、旧役場の所在地周辺が疲弊
- ・小規模集落が10年間で倍増

＜第二期戦略のポイント＞

- ・産業が活性化し、多様な人々との交流が地域ににぎわいを産む「**地域の元気づくり**」を第一に推進し、社会増、自然増につなげる
- ・**地域の個性や強みを活かした「地域プロジェクト・モデル」**を提示。地域の未来づくりともいえる取組を推進
- ・本社機能や事務所、世界的なホテルの誘致など**若者や女性の定着・環流を促進する具体的な取組を推進**
- ・民間事業者と連携した結婚のきっかけづくりなど、**結婚したいという望みを叶え、婚姻数の増加を出生数の増加につなげる**
- ・増加する**高齢者や外国人県民への対応も充実**

【人口目標】

現行の本県の人口趨勢や、国のまち・ひと・しごと長期ビジョンを踏まえ、2060年450万人の目標は維持（2020年538.5万人）



＜第二期戦略の戦略目標＞ **夢かなう兵庫の実現**

I 地域の元気づくり	II 社会増対策	III 自然増対策（子ども・子育て対策）	IV 自然増対策（健康長寿対策）
<p>【戦略指標】</p> <p>①国を上回る一人当たりの県内総生産（GDP）の伸びを維持する</p> <p>②住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合について、前年度を上回る</p>	<p>【戦略指標】</p> <p>①2024年までに日本人社会減ゼロを目指す</p> <p>②20歳代前半の若者の社会減ゼロを目指す</p> <p>③5年間で25,000人の外国人の増加を目指す</p>	<p>【戦略指標】</p> <p>①2025年まで合計特殊出生率1.41を維持する</p> <p>②結婚したいという希望を叶え、2024年に婚姻数27,000を目指す</p>	<p>【戦略指標】</p> <p>①平均寿命と健康寿命の差を縮める</p> <p>②運動を継続している人の割合75%を目指す</p>

＜重点目標＞ 戦略では、4つの戦略目標の実現に向けての手段であり、県として取り組むべき対策の柱立てとして6の重点目標を設定。目標毎に重点指標を設定し、進捗を管理

- ①幅広い産業が元気な兵庫をつくる
- ②内外の交流が活力を生む兵庫をつくる
- ③豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる
- ④自分らしく働ける兵庫をつくる
- ⑤結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる
- ⑥生涯元気に活躍できる兵庫をつくる

地域プロジェクト・モデル（地域の個性や強みを活かした7つのプロジェクトを展開し、社会増、自然増につなげる）

- ①**阪神・淡路大交流プロジェクト**（規制緩和による滞在・集客施設の立地や海上交通の整備など、集客交流エリアを形成）
- ②**ファッション等若者・女性集積プロジェクト**（地場産業の人材育成や新商品開発、体験型ツールの推進、産地を体験できるまちづくりを推進）
- ③**次世代産業を核とした地域振興プロジェクト**（科学技術基盤を活かした産業の高度化や理系人材の県内定着・環流等を推進）
- ④**西播磨歴史文化街道プロジェクト**（西播磨の地域資源の活用やコミュニティ拠点の形成など、滞在型・体験型ツールの推進）
- ⑤**リゾート・産業・文化を活かす 但馬ワーク・プレイス・プロジェクト**（但馬が誇る地域資源を活かしたリモートワークやワーケーションのモデルプロジェクトを展開）
- ⑥**二地域居住・都市農村交流推進プロジェクト**（アグリツーリズムや古民家を活用した宿泊施設の整備など都市農村交流や二地域居住を推進）
- ⑦令和の「御食国」プロジェクト（淡路食材のブランド化や若者のチャレンジショップ制度の創設など、日帰り型から滞在型観光への移行を促進）

＜事業の推進体制＞

毎年度、アクションプランを作成するとともに、毎年度の進捗状況をフォローアップし、施策を見直し